

令和8年度 公民科

| | | | | | | | |
|-------|--------------------------|----|-------|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 公民 | 科目 | 政治・経済 | 単位数 | 2単位 | 年次 | 3年次 |
| 使用教科書 | 詳述政治・経済（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 最新 政治・経済資料集 2026 （第一学習社） | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治経済という科目は、将来の社会人生活で生きる知識、思考力を身に着けることを目標とします。社会で通用するための常識、教養を身に付け社会人としての素質を学習することが重要である。

授業内容を理解し、定着することはもちろんのこと、知識を得た上で自分の考えをまとめることを心がけて下さい。その中でグループワークを通してインプットとアウトプットの充実を図り、内容の充実に努めてください。それが、これから日本の社会で政治・経済に関わりながら、有権者として自分の考えに基づいて行動するための素養になるはずですよ。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】
民主主義の本質を理解し、広い視野から現代の政治・経済・国際関係について多面的・多角的に理解する力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
政治・経済に関する諸課題について、「なぜ」という疑問を持ち、流れを含めて理解する。

【学びに向かう力、人間性等】
公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3 評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|--|
| 観 点 の 趣 旨 | 現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 | 現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 | 現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---------|--------------|---|---|--------------|------------------------|--------|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 学期 | 第二編 現代の経済 | 第1章 経済社会の変容 ①経済活動の意義 ②経済社会の形成と変容 | a: 現代経済の特徴を理解するため、混合経済や経済活動のグローバル化に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集している。資本主義経済の一般的特徴について、十分な知識を持っている。アダム＝スミスからケインズ、さらに新自由主義に至る経済学説を、経済社会の変容にあわせて的確に理解している。 b: 混合経済や経済活動のグローバル化など現代経済の特徴について、経済活動の国際比較を行うなど多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 経済に対する興味を前提に、資本主義経済の特徴や歴史について意欲的に追究している。 | 定期考査 小テスト | 定期考査 小テスト 提出プリント | 提出プリント |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|----------------------|---------------------------------|---------------|
| | | <p>第2章 現代経済のしくみ</p> <p>①市場機構 ②現代の企業 ③国民所得と経済成長 ④金融のしくみ ⑤財政のしくみ</p> | <p>a: 現代の日本経済の動向に関する諸資料を、様々なメディアから収集している。収集した資料から提出課題のテーマに合った情報を的確に判断し、レポート提出に活用している。家計、企業、政府といった経済主体相互の関連が、国民経済を構成していることを理解している。適切な価格決定や資源配分といった市場経済のもつ特性を理解するとともに、その限界についても考察を加えている。金融や財政に関する基本的な知識をもとに、金融改革や財政改革といった日本経済の課題に対する十分な理解を示している。</p> <p>b: 現代の日本経済の動向に関する諸資料を、様々なメディアから収集している。収集した資料から提出課題のテーマに合った情報を的確に判断し、レポート提出に活用している。</p> <p>c: 現在の日本経済の動向に対する関心を持っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済の諸理論に対して関心を深め、理論との関連を踏まえながら現実の経済活動を探究する意欲的な態度が見られる。 | <p>定期考査 小テスト</p> | <p>定期考査 小テスト 提出プリント</p> | <p>提出プリント</p> |
|--|--|--|---|----------------------|---------------------------------|---------------|

| | | | | | | |
|--|------------------|--|--|----------------------|---------------------------------|---------------|
| | <p>第二編 現代の経済</p> | <p>第3章 現代経済と福祉の向上 ①戦後復興と経済成長 ②経済の停滞と再生</p> | <p>a: 戦後日本経済史に関する史料を、様々な文献から幅広く収集している。中小企業や農業、消費者保護や労働問題、社会保障といった様々な課題に関するデータを白書類から収集し、課題解決の手段として活用している。中小企業や農業問題、消費者問題や公害、労働問題や社会保障といった日本経済の現状と課題に関して十分な知識を有している。</p> <p>b: 中小企業や農業問題、公害問題など日本経済の課題を考察している。経済発展のための効率性の追求と、国民福祉の向上で求められる公正さとの関連を、労使関係や社会保障を題材としての確に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</p> <p>c: 日本経済の特徴と課題に関心を示している。高度成長から安定成長、バブル経済からバブル後の不況といった戦後日本経済が歩んだ流れを追究しようとする意欲が見られる</p> | <p>定期考査 小テスト</p> | <p>定期考査 小テスト 提出プリント</p> | <p>提出プリント</p> |
|--|------------------|--|--|----------------------|---------------------------------|---------------|

| | | | | | | |
|-----|--------------|--|--|----------------------|--|------------------|
| 2学期 | 第二編 現代の経済 | <p>第3章 現代経済と福祉の向上</p> <p>③日本の中小企業と農業</p> <p>④国民の暮らし</p> <p>⑤環境保全と公害防止</p> <p>⑥労使関係と労働条件の改善</p> <p>⑦社会保障の役割</p> | <p>a: 戦後日本経済史に関する史料を、様々な文献から幅広く収集している。中小企業や農業、消費者保護や労働問題、社会保障といった様々な課題に関するデータを白書類から収集し、課題解決の手段として活用している。中小企業や農業問題、消費者問題や公害、労働問題や社会保障といった日本経済の現状と課題に関して十分な知識を有している。</p> <p>b: 中小企業や農業問題、公害問題など日本経済の課題を考察している。経済発展のための効率性の追求と、国民福祉の向上で求められる公正さとの関連を、労使関係や社会保障を題材としての確に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</p> <p>c: 日本経済の特徴と課題に関心を示している。高度成長から安定成長、バブル経済からバブル後の不況といった戦後日本経済が歩んだ流れを追究しようとする意欲が見られる</p> | 定期考査 小テスト プレゼン | 定期考査 小テスト 提出プリント クロスワード プレゼン | 提出プリント クロスワード |
|-----|--------------|--|--|----------------------|--|------------------|

| | | | | | | |
|---------|-------|--|---|--------------|----------------------------------|------------------|
| | 現代の政治 | <p>第1章 民主政治の基本原則</p> <p>①政治と法 ②民主政治と人権保障の発展 ③国民主権と民主主義の発展 ④世界の政治体制</p> | <p>A:民主主義の原理について、ロックやルソーといった思想家たちの原典資料にもどりその内容を確認するなど、効果的に活用している。政治や法、民主主義や人権保障の歴史といった民主政治の基本原則についての知識を有している。</p> <p>・社会契約説や権力分立、主要国の政治制度などに関する的確な理解を示している。</p> <p>b:民主主義の原理と、日本の政治制度の仕組みとの関連を考察している。現在の日本の政治状況やファシズムの独裁政治から、民主主義の価値を判断できている。</p> <p>c:民主主義の歴史や基本的原理に関して、世界史学習と関連づけながら深い興味を抱き、現代政治との関連性を追究している。主要国の政治制度に関して、日本の政治制度と比較しながら関心を抱いている。</p> | 定期考査 小テスト | 定期考査 小テスト 提出プリント クロスワード | 提出プリント クロスワード |
| 2 学期 | | <p>第2章 日本国憲法の基本的性格</p> <p>①日本国憲法の成立 ②平和主義 ③基本的人権の保障 ④人権のひろがり</p> | <p>a:人権問題や平和主義に関して収集した資料を、自ら設定した課題解決のために主体的に選択し、活用している。日本国憲法の成立過程について、史実と関連させて適切に理解している。日本国憲法の基本原則について総括的な知識を有している。平和主義や基本的人権に関する憲法条規に関する知識を前提に、現実の課題に対する多面的な理解を示している。</p> <p>b:大日本帝国憲法と日本国憲法を比較しながら、民主主義の実現を目指す憲法の必要性について考察を加えている。憲法の条規と、現実の社会における課題との関連を考察し、社会の望ましい在り方を判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</p> <p>c:日本国憲法の成立過程や日本</p> | 定期考査 小テスト | 定期考査 小テスト 提出プリント クロスワード | 提出プリント クロスワード |

| | | | | | | |
|-----|--------------|--|---|------|----------------|--------|
| | | | <p>国憲法の基本原則に対して興味や関心を抱いている。現実の人権問題や平和主義にかかわる問題に対して関心を示し、日本が抱える課題に対して追究する態度を示している。</p> | | | |
| 3学期 | 第一編 現代の政治 | <p>第3章 日本の政治機構</p> <p>①立法 ②行政 ③司法 ④地方自治</p> | <p>a: 国会、内閣、裁判所や地方自治に関する情報をマスメディアを通じて収集し、日本の政治機構の理解のために主体的に活用している。国会、内閣、裁判所、地方自治について、その仕組みや権限、さらに相互の均衡と抑制の在り方などを理解している。</p> <p>b: 憲法条規上の国会、内閣、裁判所の規定と、現実の三権の状況などを的確に比較し考察している。</p> <p>c: 日本の政治機構に対して、その仕組みや制度に関心をもち、現実の課題を追究する態度が見られる。</p> | 小テスト | 小テスト 提出プリント | 提出プリント |
| 3学期 | | <p>第4章 現代日本の政治</p> <p>①戦後政治の歩み ②選挙制度と政党 ③政治参加と世論</p> | <p>a: 現代経済の特徴を理解するため、混合経済や経済活動のグローバル化に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集している。資本主義経済の一般的特徴について、十分な知識を持っている。アダム＝スミスからケインズ、さらに新自由主義に至る経済学説を、経済社会の変容にあわせて的確に理解している。</p> <p>b: 混合経済や経済活動のグローバル化など現代経済の特徴について、経済活動の国際比較を行うなど多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</p> <p>c: 経済に対する興味を前提に、資本主義経済の特徴や歴史について意欲的に追究している</p> | 小テスト | 小テスト 提出プリント | 提出プリント |
| 3学期 | | <p>第5章 現代の国際政治</p> | <p>a: 現代の国際政治の動向を理解するために必要な諸資料を、様々なメディアを通して収集してい</p> | 小テスト | 小テスト 提出プリント | 提出プリント |

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | <p>①国際政治の特質と国際法 ②国際連合と国際協力 ③現代国際政治の動向 ④核兵器と軍縮 ⑤国際紛争と難民 ⑥国際政治と日本</p> | <p>る。国際対立の経験を通じ、国際間の相互依存、紛争の平和的解決のための国際機構や国際法が発達してきたことを理解し、その仕組みや制度に関する知識を身につけている。核兵器と軍縮、難民問題といった今後解決すべき国際社会の諸課題について、的確な理解を示している。</p> <p>b:国内政治と国際政治の違いを、現実の状況を踏まえて多面的に考察している。国際社会における国際連合の在り方について、様々な考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。</p> <p>c:現代の国際社会における政治の動向に対して、関心を持っている。国際紛争の諸要因を意欲的に探究している。</p> | | | |
|--|--|--|--|--|--|

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度